

使徒 3

“ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。

すると、生まれつき足のなえた人が運ばれて来た。この男は、宮に入る人たちから施しを求めするために、毎日「美しの門」という名の宮の門に置いてもらっていた。

彼は、ペテロとヨハネが宮に入ろうとするのを見て、施しを求めた。”

使徒の働き 3章 1～3 節

“ペテロは、ヨハネとともに、その男を見つめて、「私たちを見なさい」と言った。”

使徒の働き 3章 4 節

“その頭と髪の毛は、白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は、燃える炎のようであった。”

ヨハネの黙示録 1章 14 節

“さらに私は、御座——そこには、四つの生き物がいる——と、長老たちとの間に、ほふられたと見える小羊が立っているのを見た。これに七つの角と七つの目があつた。その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である。”

ヨハネの黙示録 5章 6 節

“だれが、その日を小さな事としてさげすんだのか。これらは、ゼルバベルの手にある下げ振りを見て喜ぼう。これらの七つは、全地を歩き巡る主の目である。”

ゼカリヤ書 4章 10 節

“男は何かもらえらると思つて、ふたりに目を注いだ。

すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と言つて、

彼の右手を取つて立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが強くなり、おどり上がつてまっすぐに立ち、歩きだした。そして歩いたり、はねたりしながら、神を賛美しつつ、ふたりといっしょに宮に入つて行った。

人々はみな、彼が歩きながら、神を賛美しているのを見た。”

使徒の働き 3章 5～9 節

“そして、これが、施しを求めために宮の「美しの門」にすわつていた男だとわかると、この人の身に起こつたことに驚き、あきれた。

この人が、ペテロとヨハネにつきまとつてゐる間に、非常に驚いた人々がみないっせいに、ソロモンの廊という回廊にいる彼らのところに、やつて来た。

ペテロはこれを見て、人々に向かつてこう言つた。「イスラエル人たち。なぜこのことに驚いているのですか。なぜ、私たちが自分の力とか信仰深さとかによつて彼を歩かせたかのように、私たちを見つめるのですか。

アブラハム、イサク、ヤコブの神、すなわち、私たちの父祖たちの神は、そのしもべイエスに栄光をお与えになりました。あなたがたは、この方を引き渡し、ピラトが釈放すると決めたのに、その面前でこの方を拒みました。

そのうえ、このきよい、正しい方を拒んで、人殺しの男を赦免するように要求し、いのちの君を殺しました。しかし、神はこのイエスを死者の中からよみがえらせました。私たちはそのことの証人です。

そして、このイエスの御名が、その御名を信じる信仰のゆえに、あなたがたがいま見ており知っているこの人を強くしたのです。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの目の前で完全なからだにしたのです。”

使徒の働き 3章 10～16節

”ですから、兄弟たち。私は知っています。あなたがたは、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにあのような行いをしたのです。

しかし、神は、すべての預言者たちの口を通して、キリストの受難をあらかじめ語っておられたことを、このように実現されました。

そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。

それは、主の御前から回復の時が来て、あなたがたのためにメシヤと定められたイエスを、主が遣わしてくださるためなのです。

このイエスは、神が昔から、聖なる預言者たちの口を通してたびたび語られた、あの万物の改まる時まで、天にとどまっていなければなりません。

モーセはこう言いました。『神である主は、あなたがたのために、私のようなひとりの預言者を、あなたがたの兄弟たちの中からお立てになる。この方があなたがたに語ることはみな聞きなさい。』”

使徒の働き 3章 17～22節

”あなたがたは預言者たちの子孫です。また、神がアブラハムに、『あなたの子孫によって、地の諸民族はみな祝福を受ける』と言って、あなたがたの父祖たちと結ばれたあの契約の子孫です。

神は、まずそのしもべを立てて、あなたがたにお遣わしになりました。それは、この方があなたがたを祝福して、ひとりひとりをその邪悪な生活から立ち返らせてくださるためなのです。」”

使徒の働き 3章 25～26節